



祝 辞

国際ロータリー第 2530 地区
ガバナー

伊 藤 浩

本日、いわき平ロータリークラブの創立 60 周年を迎えられました事を心からお祝い申し上げます。
1953 年 6 月 18 日東京ロータリークラブ・郡山ロータリークラブをスポンサーとして創立会員 25 名で平ロータリークラブが誕生致しました（1975 年「いわき平ロータリークラブ」に改称）。創立以来今日まで、浜通り地方はもちろんのこと県内外にロータリーの理想を広められ、ロータリーの発展に寄与されてこられました。特に一昨年の中東大震災と東京電力福島原発の重大事故以来今日まで、地域の復興に対する活躍は素晴らしいものでございました。

本年度は 30 年ぶりに東ヶ崎潔先生、向笠廣次先生について日本人で三人目として田中作次 RI 会長が誕生致しました。当地区に対しましては、過密なスケジュールの中、田中 RI 会長には 12 月 25 日・26 日の両日にわたって来福して戴きました。

この日本のそして我々 2530 地区のロータリアンにとって大変喜ばしい年度に、貴いわき平ロータリークラブが創立 60 周年という素晴らしい年度を迎えられましたこと、誠に御同慶にたえない次第でございます。田中作次 RI 会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」が実現するのに一歩でも近づく様に当 2530 地区のスローガンとして「ロータリー精神を実践しよう」を合言葉としてあらゆる平和と超我の奉仕の実現にむかって、奉仕と親睦の二本柱と多様性、高潔性、リーダーシップに注力しながら、戦略的手法を加味しつつ、努力精進しているところでございます。お陰様で当年度の大変困難な目標の新ロータリークラブと新インターアクトクラブも皆様の心温かき御支援によって誕生致しました。

何卒いわき平ロータリークラブの皆様におかれましては本日の 60 周年記念を大いなる契機として、更なる当地区のリーダーとして御支援、御指導の程お願い申し上げます。

結びにいわき平ロータリークラブの益々のご発展と会員皆様方の御健勝を心よりお祈り申し上げお祝いの言葉と致します。

本日は誠にめでとうございます。



祝 辞

いわき市長 渡 辺 敬 夫

本日、ここに、いわき平ロータリークラブ創立60周年記念式典が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。

貴会におかれましては、昭和28年6月の創立以来、60年の長きにわたり、奉仕の精神のもと、地域に密着した奉仕活動に取り組まれ、最近では、いわき明星大学が中心となって取り組んだ「菜の花エコカレッジ」への支援や、福島高専へのノートパソコンの贈呈など、数々の輝かしい実績を積み重ねてこられたことに対し、衷心より敬意を表します。

また、今回の60周年にあたりまして、防犯カメラ2台を御寄贈いただきましたことに、改めてお礼申し上げます。地域の安全安心のため、街頭の犯罪の防止に役立たせていただきたいと考えております。

さて、東日本大震災から2年3ヶ月が経過いたしました。この間、本市におきましては、貴会をはじめ市民の皆様の御尽力と、国内外の多くの方々からの御支援をいただきながら、着実に復旧・復興の歩みを進めて参りました。

特に今年は、市内に槌音が響きわたる「復興事業元年」として、市民の皆様の安全・安心を最大限に確保しながら、震災前にも増して魅力と活力に満ち溢れたまちとして復興を遂げるため、引き続き、オールいわきで取り組んで参る所存であります。

そして、そのためには、市民や企業の皆様のみならず、貴会をはじめ様々な市民活動団体の皆様等との協働による“まちづくり”が不可欠であると考えております。今後とも、ふるさといわきの再生、復興に向け、なお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立60周年を迎えた、いわき平ロータリークラブの益々の御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。